

2025 年度シラバス

科目分類/Subject Categories			
学部等/Faculty	/大学院工芸科学研究科（博士後期課程）/大学院工芸科学研究科（博士後期課程）： /Graduate School of Science and Technology (Doctoral Programs)/Graduate School of Science and Technology (Doctoral Programs)	今年度開講/Availability	/有/有 : /Available/Available
学域等/Field	/造形科学域/デザイン科学域 : /Academic Field of Architecture and Design/Academic Field of Design	年次/Year	/1～3年次/1～3年次 : /1st through 3rd Year/1st through 3rd Year
課程等/Program	/建築学専攻/建築学専攻 : /Doctoral Program of Architecture/Doctoral Program of Architecture	学期/Semester	/第1クォータ/第1クォータ : /First quarter/First quarter
分類/Category	/授業科目/授業科目 : /Courses/Courses	曜日時限/Day & Period	/月1/木1 : /Mon.1/Thu.1

科目情報/Course Information				
時間割番号 /Timetable Number	83201101			
科目番号 /Course Number	83260019			
単位数/Credits	2			
授業形態 /Course Type	講義 : Lecture			
クラス/Class				
授業科目名 /Course Title	建築・都市再生構想学 : Architecture and Urban Regeneration Planning			
担当教員名 / Instructor(s)	/阪田 弘一/高木 真人/大田 省一/(赤松 加寿江) : SAKATA Koichi/TAKAGI Masato/OHTA Syoichi/AKAMATSU Kazue			
その他/Other	インターンシップ実施科目 Internship	国際科学技術コース提供科目 IGP	PBL 実施科目 Project Based Learning	DX 活用科目 ICT Usage in Learning
	実務経験のある教員による科目 Practical Teacher			
科目ナンバリング /Numbering Code	D_AR7212			

授業の目的・概要 Objectives and Outline of the Course	
日	建築・都市の再生に様々な研究分野から関わる各教員の取り組みについての講義を受けることで、建築・都市再生のための柔軟かつ多角的な構想力を養うことを目的とする。
英	

学習の到達目標 Learning Objectives	
日	建築・都市史分野における、建築・都市再生のための研究構想の実際やその背景について理解できる 建築・都市計画分野における、建築・都市再生のための研究構想の実際やその背景について理解できる 上記の知見を参考に、自身の研究分野から都市・建築再生に寄与する研究を構想することができる
英	

学習目標の達成度の評価基準 / Fulfillment of Course Goals (JABEE 関連科目のみ)	
日	
英	

授業計画項目 Course Plan			
No.		項目 Topics	内容 Content
1	日	赤松による講義	赤松（専門分野：領域史、文化的景観、都市史）による自身の研究分野・活動に関する講義
	英		
2	日	レポート課題提示	赤松によるレポート課題説明
	英		
3	日	大田による講義	大田（専門分野：建築・都市史、アジア都市研究、集落研究）による自身の研究分野・活動に関する講義
	英		
4	日	レポート課題提示	大田によるレポート課題説明
	英		
5	日	高木による講義	高木（専門分野：建築・都市計画、子ども学、保育学、建築史）による自身の研究分野・活動に関する講義
	英		
6	日	レポート課題提示	高木によるレポート課題説明
	英		
7	日	阪田による講義	阪田（専門分野：建築・都市計画、地域再生、公共、居住支援）による自身の研究分野・研究活動に関する講義
	英		
8	日	レポート課題提示	阪田によるレポート課題説明
	英		
9	日		
	英		
10	日		
	英		
11	日		
	英		
12	日		
	英		
13	日		
	英		
14	日		
	英		
15	日		
	英		

履修条件 Prerequisite(s)	
日	
英	

授業時間外学習（予習・復習等） Required study time, Preparation and review	
日	レポート課題の作成
英	Creating Reports

教科書／参考書 Textbooks/Reference Books	
日	特になし
英	

成績評価の方法及び基準 Grading Policy	
日	各担当者からのレポート課題：１００％

英	
---	--

留意事項等 Point to consider	
日	
英	